

TFT/APP 進捗報告書 2013年2月度

2013年3月20日

はじめに

本報告書は、持続可能性ロードマップ：ビジョン2020の進捗報告書の一環として、2月5日に発表された森林伐採ゼロ方針の順守を目指すAPPの進捗状況につき、今後TFTが定期的にアップデートする一連の報告書の第一報です。

APPは、2013年2月1日を以て、インドネシアのサプライチェーンにおける自然林伐採を即時停止することを発表しました。TFTはAPPと共同で、現場での作業の実施および監視に取り組んでいます。APPの新たな森林保護方針（FCP）実施に関する進捗状況に多大な関心が寄せられていることをTFTは理解しており、四半期報告書を待つのではなく、現地で行われている作業について、より頻繁に報告を行うことを決定しました。

概要

この1ヶ月はまさに激動の月でしたが、勇気づけられるニュースは、すべての原料供給会社の合意に基づく森林伐採の中止が実行されつつあることです。さらに、APPが方針に違反した場合に地域コミュニティや市民団体が報告できるように作成された苦情プロセスのテストが行われ、そうした当事者からも好意的な評価を受けています。

2月5日の森林保護方針の発表に先立ち、APPとTFTは実行の指針となる一連の手順を作成しました。また、実行に向けて複数のステークホルダーが強力に取り組んでいくために、インドネシアの地域市民団体といち早く手を結ぶことが重要と考えられていました。そこでAPPとTFTのチームは、インドネシア各地で一連のフォーカス・グループ・ディスカッション（FGD）に参加し、地域の市民団体の代表者たちとの会談を実施しました。このFGDは、包括的な目的と方針の背後にある詳細——監視プロセスやデータの詳細から共有される事項——に焦点を当てたものでした。こうした会談は作業プログラムの一部となり、継続されていきます。この第一回ステークホルダー協議の最終的FGDは、2013年3月27日に開かれることになっており、APPとTFTはこの席で、地域会議において提供されたすべての情報に対処することにしています。

遵守方針の進捗状況

遵守方針1：

保護価値の高い森林（HCVF）と炭素蓄積量の多い森林（HCS）

APPとその原料供給会社は、独立したHCVFおよびHCS評価を通じて特定された、森林に覆われていない地域においてのみ開発活動を行います。

1. 森林伐採の中止：TFT、APP、その原料供給会社のスタッフは、森林伐採が中止されていることを保証する手順の実行に向け、現場で積極的に取り組んできました。我々のチームは：
 - a. 2013年1月31日以前に自然林を伐採しAPPに木材を供給していたすべてのコンセッションについて、GPS データを用いて伐採境界線の表示と記録を行いました；
 - b. 2013年以前に伐採され、APPのサプライチェーン内に置かれている自然林材の保管場所の一覧表を作り、その地図を作成しました。多くの材木置き場に置かれた100万立方メートルを超える木材原料が記録されましたが、今後数か月にわたり、この在庫はAPPの工場に移送されることとなります。こうしたすべての木材のAPP工場への移送完了予定日は2013年8月ですが、天候や下請け業者の事情、道路のインフラの状況により異なってきます。こうした進捗状況は追ってご報告します。
 - c. 570以上の木材伐採機器の一覧表を作成しました。
 - d. 材木置き場から運ばれた、2013年1月31日以前に伐採された木材以外はサプライチェーンに混入しないよう、木材追跡システムを作成し、同システムの使用について関連するスタッフのトレーニングを行いました。

2. 現在、HCVF評価はAPPの原料供給会社38社について実施されており(空地、自然林残存地、パルプ材植林地の開発が完全に終了している土地など)、2013年9月から2014年3月にかけて段階的に完了される予定です。

3. APPは、かつて同社に自然林材料を供給していた土地を保護のために除外することとするため、代替の低炭素産業植林地 (HTI) 開発に関する作業も開始しました。
 - a. 南スマトラのコンセッション3ヶ所(セバングン・ブミ・アンダラス、ブミ・メカル・ヒジャウ、ブミ・アンダラス・ペルマイ)での現地評価と上空査察が実施されました。
 - b. こうしたコンセッションの評価は、古い低木林/再生林、開墾地/空地の潜在的な高保護価値と炭素貯蔵価値を特定するためのものです。
 - c. データ収集プロセスを強化するため、地方および村落レベルのフォーカス・グループ・ディスカッションが実施されました。また、評価結果に関する情報と意見を関連するステークホルダーから集めるために、地域および州レベルのステークホルダー協議も予定されています。

4. 保護すべき高炭素貯蔵 (HCS) 林の特定を支援するため、チームは最新式のSPOT 5衛星データを入手しました。現在、APPのサプライ拠点全体の土地を分類する分析が実施されています。現時点で、APPのサプライ拠点の70%にあたるデータが処理されました。残りの30%は2013年5月末までに処理されることになっています。高炭素貯蔵林が特定された時点で、現地調査と蓄材量のサンプリングの2段階に分けたプロセスで実施されます。

5. 原料供給会社による方針の遵守と第三者監視員によるモニタリングを推進するため、TFT と APP は伐採中止の実施状況の監視、独立監視員の役割、苦情、新規土地開発に関する一連の手順を作成しました。APP と TFT は、ジャカルタ、リアウ、ジャンビ、西カリマンタン、東カリマンタン地域のインドネシアの市民団体に対し、こうした手順についての意見を求めました。現在、森林境界線の地図を作成するプロセスの一環として、監視のための訪問が行われており（上記1参照）、2013年4月には市民団体による監視プロセスへの参加が開始されるものと考えています。
6. 不履行が判明した際に取りるべき行動や懲戒処分のレベルを決めるため、伐採中止委員会を発足させました。

遵守方針 2：

泥炭地管理

APP は、インドネシア政府の低炭素排出開発目標と温室効果ガスの排出削減目標を支持します。

1. HCVF 評価機関のリーダーは、HCVF 評価プロセスを支援するために、国内および国外で承認されている泥炭地の専門家から成るチームを立ち上げようとしています。このチームは森林保護と泥炭地管理計画の実践に向けて手順や方法論を定め、すべての作業を監督し、勧告事項と是正措置を明確にします。このチームは2013年4月に発足する予定です。

遵守方針 3：

社会およびコミュニティとの関わり

APP はサプライチェーンにおける社会的紛争の回避・解決に向け、市民団体を含む広範囲なステークホルダーの意見やフィードバックを積極的に取り入れながら、原住民や地域コミュニティの自由意志に基づく事前の合意 (FPIC) などの原則を実行し、人権を尊重して行きます。

1. 原住民と地域コミュニティの FPIC の推進を目的とした、APP の供給会社のスタッフを対象とする第一回 FPIC トレーニングが、南スマトラ、ジャンビ、リアウの各地域で完了しました。西カリマンタンと東カリマンタン地域についても、3月の第三週に予定されています。
2. 責任ある苦情処理を実施するため、APP は苦情処理手順を開発し、これをジャカルタ、リアウ、西カリマンタン、東カリマンタン、ジャンビ、南スマトラ地域で公開しました。インドネシア全体についても、3月27日に行われることになっています。南スマトラとリアウを拠点とするいくつかの NGO は、2013年2月から3月にかけて報告された案件の解決に向け、APP の苦情処理手順の実施に積極的に参加しました。

3. TFT と APP は責任ある苦情解決手順のドラフトを作成しました。紛争分布のトレーニングに関するモジュールが作られ、ジャンビとリアウ地域でトレーニングが完了しています。またこのドラフトは、該当地域での実行に向けてさらに意見を募るためにステークホルダーと共有されています。
4. TFT は、ジャンビ地域における紛争を解決すべく、APP、林業省チーム、地域コミュニティの代表者との共同取り組みを継続しています。この中には、PPJ（ジャンビ州農民連合）の関係者やジャンビ州林業庁所長との討議も含まれています。また TFT は、PSPI 社の紛争解決プロセスに対するサポートを開始しました。TFT は、アララ・アバディ社、地元の NGO スケール・アップ、インドネシア国家森林理事会（DKN）との交渉も行っています。
5. リアウ州にある APP 所有のコンセッション、アララ・アバディ社のプラウ・ムグにおける 2013 年 1 月の紛争については、すべての関係者が合意書に署名し、すでに解決しました。
6. APP は社会的影響調査に基づいて CSR 方針を精査しました。この調査の結果と勧告は方針の改善に活かされることとなります。

遵守方針 4：

第三者供給会社

世界中から木材原料を調達している APP は、この調達活動によって責任ある森林管理に貢献するための手段を推進していきます。

1. これまでの作業の多くは、インドネシアのパルプ材供給会社による森林保護方針の実施を焦点としたものでした。
2. APP 中国のサプライチェーンの第一回リスク分析が開始されました。
3. APP はすべてのパルプ供給会社に対し、APP の森林保護方針の順守を通達する書簡を送りました。
4. APP はその森林保護方針について、世界のパルプ以外の原料供給会社に対して一日研修を実施しました。

中国における進捗状況

APP 中国と TFT 中国チームは、中国での森林保護方針の進展に向けての計画と優先事項について討議するために、グリーンピース中国チームと会談しました。この討議の結果、第一次行動計画が作成され、現在は最終承認を待っている段階にあります。中国における行動計画の目標の詳細と進捗状況については、今後の報告書でより詳しく報告いたします。